

2008 ティータイム通信

10



発行/ 登録番号(特-16)13000号 (第1住所保証機関登録済)
 株式会社 **みのりホーム** Tel 089-976-0047
 [ホームページ] <http://www.minori-group.com> ホームページ更新中
 [E-mail] minori@minori-group.com (みのりホーム)と検索してください



社長 寺川勲雄

古い木造が壊れない理由

— 前号のつづき —

前回に引き続きのお話。

古い木造が地震の際に壊れない理由は、「傾きの限度」を超えなかったこと、建物が「変形性能の役割」を果たしている為というところまで触れたが、今回もそこをもう少し説明したい。

建築基準法はこれから建築される建物について、「数百年に一度発生する確率の巨大地震を受けても、倒壊しない」という性能が、最低限必要だとしている。

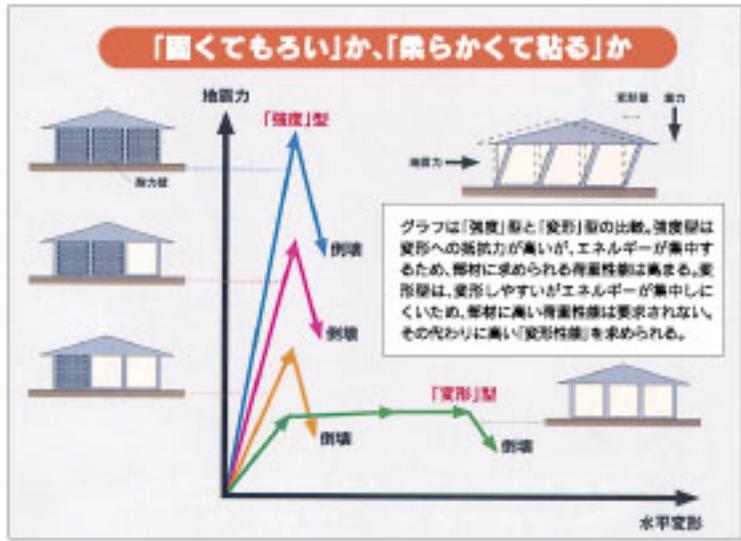
この「倒壊を防ぐ」という目標を達成するためには、大きく分けると二つの方法がある。一つはできる限り傾かないように水平強度を高めること。もう一つは、どれだけ傾いても倒れないように、変形性能を

高めることだ。共通しているのは、どちらの方法も、揺れのエネルギーを何らかの形で吸収しているという点だ。いったん発生したエネルギーは、必ずどこかで吸収されたり発散したりしている。地震が起きれば、どれほど硬い構造も必ずどこかにダメージを受けるはずだ。

エネルギーを吸収することは、「地震で生じたエネルギーを、様々な部材によって減衰させること」と言い換えることができる。いかに効率よくエネルギーを減衰させるかという考え方は、現代の構造工学を考える上では欠かせない。

単純な定義では、「耐震構造」とは建物の水平強度を高め、固くしていくことだと思われてきた。強度が高いということは、エネルギーが集中する部位を作り出すことにもつながるため、必ずしも良いことばかりではないという考え方が、現在、構造の専門家の間で一般的だ。変形性能は、それを維持し続けるために、木材が腐ったりすき間ができた際などにメンテナンスが欠かせない。メンテナンスが重要なのは、実は「強度」型も同じだ。度重なる地震や台風などによってダメージが蓄積されていくからだ。「直しやすさ」も、実は耐震性に直結しているのだ。

家づくりの実態情報
日経ホームビルダー「わかる耐震」より



マイホーム四方山話

ホームアドバイザー/寺川優一

vol.8

～透湿防水性～



みのりホームでは、日々建築材料の情報収集や比較検討を行っています。みのりホームの建築材料に共通することはズバリ「透湿防水」。その名のとおり、湿気は透りますが水は通さないという、なんとも不思議で都合の良い性質です。液体よりも水蒸気の粒

子の方が小さいことを利用したものです。昔ながらの日本の住宅に使われていた、無垢の木材や茅葺屋根、土壁、柿渋塗料は湿気を透すものばかりでしたが、建設業が工業化され、ビニール製のクロスや、ウレタン系の塗料、プリント合板、窯業系のサイディングなど湿気を透さないものが多くを占めるようになりました。読んでいただけで、息が詰まりそうな感じがしますね…。

住宅の構造材である木材や、鉄は湿気を含んだ状態が長く続くと腐りや、劣化が著しく進行します。地震に遭った時、新築なら大丈夫だと思いますが、20年～30年経った住宅はどうか、とても心配です。

また、湿気の多いところにはカビやダニが繁殖しやすく、アトピーやアレルギーなどの健康上の問題になりますし、シロアリの原因にもなります。

雨を室内に入れず湿気を外に放出できる仕組みは、家と人を健康に保つ秘訣です。



ていれぎ探検記

オレは、家なんか、一生建てない。借家で十分。セガレはセガレでなんとかするだろう。知ったことじゃない。したがって住宅資金も借りない。そのために貯金もしない。その分のお金で、酒を飲むか、競輪とパチンコをするのだ。というふうに自分の家を持つことをあきらめたら、どうだろう。住宅資金返済のために、苦しまないで済むのではないか。さ～あみんな、家を持つことはあきらめてしまおう。人生の目標を別に捜(さが)そう。とボクは呼びかけたわけであるが、客席の拍手はまばらである。

誰だって自分の家はほしい。自分の家がほしいのはあたりまえのことだ。毎日、一生懸命に働いているのだ、せめて日曜日ぐらい、だれにも気がねなくのびのびと、手足をのばしてみたい。太陽にあたって日光浴をしたり、時には庭の緑も眺めてみたい。そして庭の土に蟻(あり)が巣を作る様子など、じつと眺めてみたい。

来春に、松山市高井町に、緑り豊かで、風薫る田園

地帯のロケーションの地と大型ショウピングセンター「フジグラン重信」まで300メートルのところに、テレビ愛媛主催「まっすんの陽あたり良好」住宅展示場が誕生する。各社の環境にやさしいモデル住宅を競って建てる。太陽エネルギーを利用して電力をまかなう、屋根、外壁は断熱性を高め、夏は涼しく、冬は暖かい室内、越し屋根を設けて建物の中に風の道をつくる。「エコとセキュリティのまち ていれぎ」は地球環境に配慮したやさしい町になる。自分の家のほしい人は真剣(しんけん)に、この地で自分の家



を持つとうじゃないか。とボクは呼びかけた。観客は大きな拍手である。

(エツセイ・絵/ 玉井 恭介)

現場から
のお便り

上棟式

F様邸

いよいよF様の建築が始まりました。

基礎はもちろんシロアリ保証の「ベタ基礎」。家の隅に見える三角の形をしているところは「コーナーハンチ」といって、耐震性を向上させる施工方法です。

これからどんどん工事が進むにつれ、柱ができて屋根ができて…。一番想像が膨らむ時ではないでしょうか。



社長の介護日記 ~ 虐待 ~



8月12日の愛媛新聞に、県のまとめによると昨年1年間に愛媛県内で発生した家庭での老人虐待の件数が214件であったと報じている。

これは前年に対して40件(18.7%)の増加ということで、そのうち身体的虐待がもっとも多く153件、ついで大声で怒鳴る、金を取り上げる、介護放棄の順であるという。

又、要介護施設でも4件の虐待があったと報じている。子供を育て、苦勞の多かった人生の終盤に於いて愛する家族から叩かれたり怒鳴られたりお金を取られたりとは、まったくお寒いことである。

214件という数は、通報などをもとに調査した結果であるので、実際にはこの何倍もの件数があるのかもしれない。然しながら、私も介護のまねごとをやってみて、心の持ち様でその危険性は大きいにある様に思うのである。

老々介護の末、夫が妻を、或いは妻が夫を、介護に疲れた子供が親を手にかけたなどのニュースを聞くと胸が痛む。

「私たちの年代は親を見る最後の年代であると同時に、子供に看てもらわない最初の年代である」と云われる。

「子供には迷惑をかけたくない」誰しもそう思い乍ら、しかししっかりした老後計画があるかというと殆んどの人がそういうものを持ち合わせず、「何とかなるさ」「イザとなれば、子供か或いは役所が何

とかしてくれるだろう」といった気持ちで老後を迎えている様に思われる。

これは身体が不自由になり、認知症が出はじめた老人の日常生活の送り方に対して勉強する機会が無いからだと思うし、厄介なことに「自分は年をとってもそうはならない」と殆んどの人が思っているフシがある様に思うのである。あの鉄の女サッチャー元首相でさえも今認知症と戦っている。

「頭も足腰もしっかりしていて、ある日ポックリと逝く」などと云う事は、万に一つあるかどうかである。誰も自由が利かず、身体障害者の状態になることは間違いない。しかもそれは、誰もが未体験の世界である。

大企業では定年近くの人に定年後どう暮らすかといった講座が開かれて、定年後の人生の過ごし方を教えてくれるらしいが、人生の終盤を迎えた人の日常の過ごし方講座などが身近にあれば、真剣に老後を考える人が増えるかもしれない。

昔、北欧の福祉事情を見て返って以来、いろんな人に教わりながら自分の問題として老後を考え、グループホームを建て、グループリビング(グループホームとは違う)を建て、その運営もやっているが、未だ充分なものではない。

皆さん、判断力と決断力のあるうちに、自分の老後を決定しておくべきではないでしょうか。

オープンハウス 全5物件 開催

10:00~17:00 9/20(土) 21(日)

土居町



●土地/40.14坪
●建物/27.80坪

H17
年築

2,950万円

石手白石



●土地/40.85坪
●建物/31.91坪

H16
年築

2,600万円

紅葉町



●土地/38.73坪
●建物/81.87坪

S59
年築

3,980万円

祝谷2丁目



●土地/50.53坪
●建物/34.20坪

H18
年築

4,280万円

鷹子町



●土地/52.29坪
●建物/26.29坪

S54
年築

2,380万円

中古住宅のメリットは
☆お手頃な価格
☆手間いらず
です。住宅ローン控除
にも間に合いますので
非常にお得
です!

みのり商会 部長
松長 哲也



※詳しくは9/20(土)10:10~テレビ愛媛「**暮らしの良友**」と、その週のウィークリーリックをご覧ください。

お申し込みは
みのり商会
Tel 089-976-0050

お知らせ MINORI'S Information

What's New



- ◆2008.09.02 中須賀11号地(売土地)ご成約ありがとうございました。
- ◆2008.09.01 溝辺町3号地(売土地)ご成約ありがとうございました。
- ◆2008.08.25 ティータイム通信9月号、掲載しました。
- ◆2008.08.21 溝辺3号地(売土地)商談中です。
- ◆2008.08.05 中須賀(売土地)、販売開始いたしました。
- ◆2008.08.04 構造見学会(溝辺町)のご案内、を掲載しました。

※詳しくは当社ホームページをご覧ください。 <http://www.minori-group.com>